

# CS-9200 (コピーユニット) 取扱説明書 1 設置作業を行われる方へ

本製品の組み立てと接続方法を説明します。

スキャナ、プリンタ、専用スキャナスタンドに添付されているそれぞれの取扱説明書を参照して、各機器の組み立てやオプション（ただしオートドキュメントフィーダは除く）の取り付け、動作確認までを行ってください。  
本書では、それ以降の手順を説明しています。

済

## 専用スキャナスタンドの高さの確認

5



お使いのプリンタやスキャナの組み合わせに応じて専用スキャナスタンドの高さが正しいか確認します。

## 設置場所の確認

6



お使いのプリンタやスキャナの組み合わせに応じて、設置スペースを確認します。

## スキャナ用 I/F カードとオートドキュメントフィーダの取り付け

9



スキャナと操作パネルを接続するための I/F カードを取り付けます。オプションのオートドキュメントフィーダは、ここで取り付けます。

## プリンタ用 I/F カードの取り付け

11



プリンタと操作パネルを接続するための I/F カードを取り付けます。

## 操作パネル/FAXユニットの取り付けと配線

14

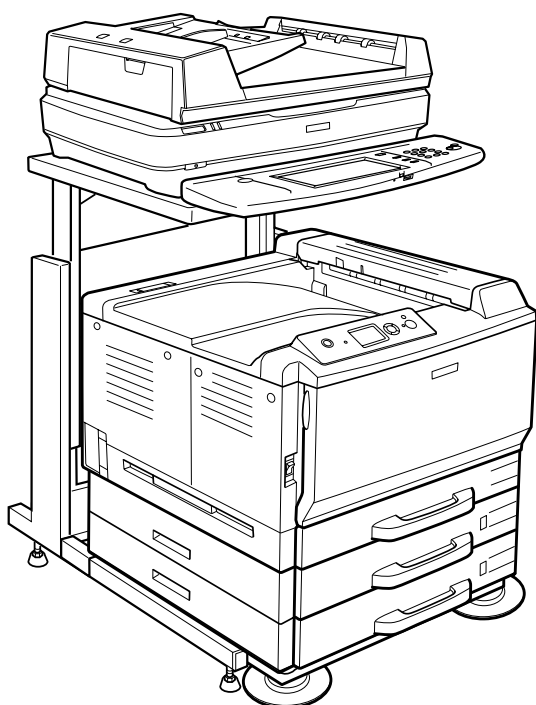


コピーユニットとオプションの FAX ユニットを取り付け、コピーユニット、FAX ユニット、プリンタ、スキャナをそれぞれ配線します。

## 動作確認

27

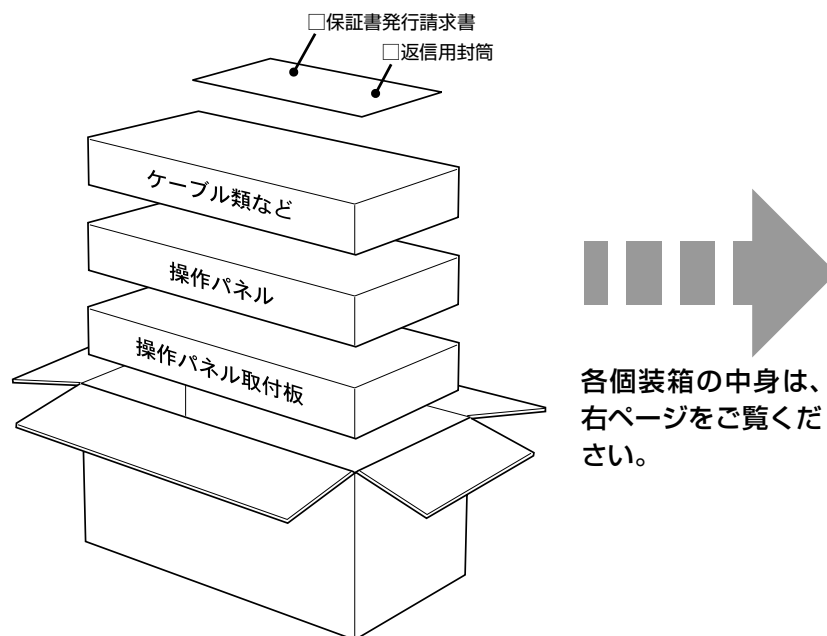
電源を入れて各機器が動作するか確認します。



## 販売店様へのお願い(保証書発行請求書、返信用封筒について)

本製品は、弊社にてお客様情報を登録させていただいた後、設置日より半年間有効の保証書を発行いたします。設置などの作業が終了し、本製品の正常動作を確認されましたら、お手数でも「保証書発行請求書」の各項目に必要事項をご記入いただき、1枚目のみを添付の返信用封筒に入れ、弊社まで郵送くださいますようお願いいたします。

なお、「保証書発行請求書」を返送されなかったり必要事項の記入漏れなどがございましたら、保証書が発行できず、故障の場合でも有償修理となり、各種サービス・サポートが受けられませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。



## 本文中のマークの意味

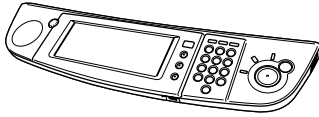
本書で使用しているマークの意味は次の通りです。

- ⚠ 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
- ! 重要** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷する可能性が想定される内容、本製品が正常に動作しないと思われる内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。
- 📖 参考** 補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
- 🔗** 関連した内容の参照ページを示しています。

## 同梱物の確認

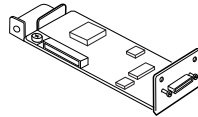
梱包を開いたら、付属品がすべてそろっていること、CS-9200 本体および付属品に損傷がないことを確認してください。不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

### 操作パネル



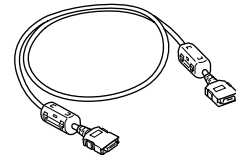
### プリンタ用 I/F カード

プリンタ内部の専用コネクタに接続します。



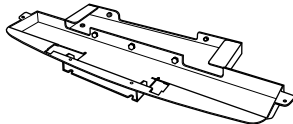
### プリンタ用 I/F ケーブル

操作パネルとプリンタ用 I/F カードの接続に使用します。



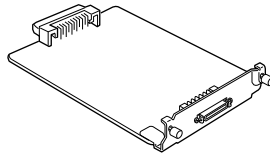
### 操作パネル取付板

操作パネルを、オプションの専用スキャナスタンドに取り付ける際に使用します。



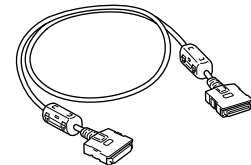
### スキャナ用 I/F カード

スキャナ背面のオプションスロットに装着します。



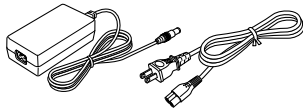
### スキャナ用 I/F ケーブル

操作パネルとスキャナ用 I/F カードの接続に使用します。



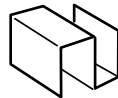
### AC アダプタ、電源コード

操作パネル用の AC アダプタと電源コードです。



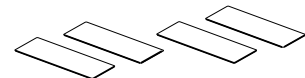
### プリンタストップパ

専用スキャナスタンド（オプション）に取り付けます。



### マジックテープ（2 セット）

AC アダプタの固定とメモ리카ードリーダー/ライターなどの固定に使用します。

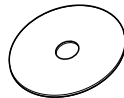


### ネジ（4 本）

操作パネルと操作パネル取付板を固定します。



### EPSON CS-9200 ソフトウェア CD-ROM



### 取扱説明書 2 冊

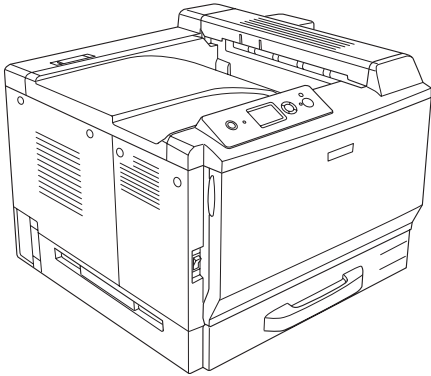
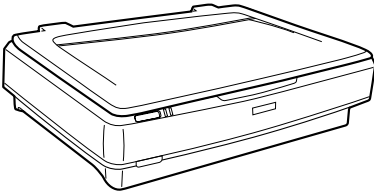
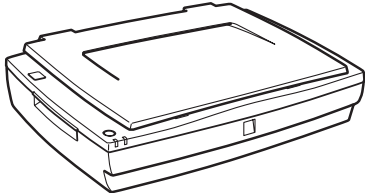
### スキャナビボタンマスク シール

### コピー禁止事項シール

# プリンタとスキャナの確認

スキャナやプリンタ、各機器のオプション（ただしオートドキュメントフィーダを除く）が使用可能な状態になったことを確認してから、コピーユニットのセットアップ作業を始めてください。

各機器のセットアップや動作確認の方法は、各機器に同梱されている取扱説明書を参照してください。各機器の動作確認が終了したら、すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いておきます。

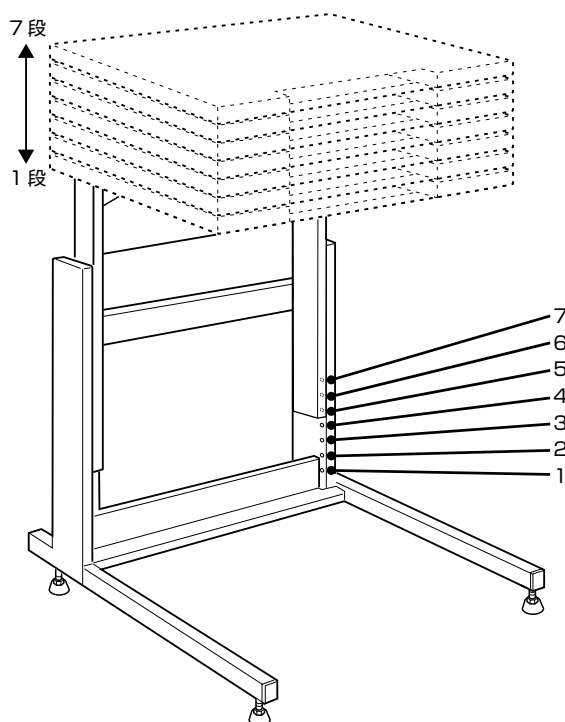
|      | 製品型番                 | 備考  |
|------|----------------------|---|
| プリンタ | LP-S7500             | オプションのコンパクトフラッシュを装着している場合は、コピーデータのスパールやソート処理用として使用されます。<br>  |
| スキャナ | ES-H7200<br>ES-9000H | <ul style="list-style-type: none"><li>オプションスロットは、使用できません（スキャナ用 I/F カードを装着するため）。</li><li>SCSI コネクタ、USB コネクタ（ES-H7200 のみ）に、コンピュータを接続して使用できます。ただし、コピーユニットと同時に使用することはできません。</li><li>オプションのネットワークスキャニングボックス「ESNSB1/2」、ネットワークスキャニングカード「ESIFNW1」は使用できません。ただし、コピーユニットを介してネットワークスキャナとして使用できます。</li></ul>   <p>オプションのオートドキュメントフィーダは、本書の指示に従って装着してください。</p> |

各機器のセットアップとオプションの取り付けが完了したら、次の手順に進みます。

- 専用スキャナスタンドを使用する  
➡ 次ページ
- 専用スキャナスタンドを使用しない  
➡ 本書 6 ページ「設置場所の確認」

# 専用スキャナスタンドの高さの確認

専用スキャナスタンドが、プリンタと増設カセットユニットの組み合わせに応じて適切な高さに組み立てられていることを確認します。



| 増設カセットユニット有無 | 専用スキャナスタンドの高さ (段数) | 備考   |
|--------------|--------------------|--|
| 無し           | 1～5 段目             | オプションの専用プリンタ台 CSCBN13B 使用時                                 |
| カセット 1 段増設時  | 2～5 段目             | オプションの増設 1 段カセットユニット LPA3CZ1CU4 と専用プリンタ台 CSCBN13B 使用時      |
| カセット 2 段増設時  | 4～5 段目             | オプションの増設 1 段カセットユニット LPA3CZ1CU4 を 2 台と専用プリンタ台 CSCBN13B 使用時 |
| カセット 3 段増設時  | 7 段目               | オプションの増設 1 段カセットユニット LPA3CZ1CU4 を 3 台と専用プリンタ台 CSCBN13B 使用時 |

専用スキャナスタンドの高さが適切な高さになっていないときは、専用スキャナスタンドに添付の取扱説明書を参照して、高さを調整してください。



増設 1 段カセットユニットを 3 段増設すると操作パネルの位置が高くなり、操作パネルが見にくくなります。そのため、増設は 2 段以内にするをお勧めします。

専用スキャナスタンドの確認が終了したら、設置場所を確認します。

[次ページ](#)

# 設置場所の確認

## 設置上のご注意

次のような場所に設置してください。

- プリンタ、スキャナ、およびコピーユニットの総質量（専用スキャナスタンド/プリンタ台を使用する場合はそれらの質量を含む）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- プリンタの通風口をふさがない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- プリンタやスキャナの環境条件を満たす場所

**！重要** 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。

|              |            |
|--------------|------------|
| 直射日光の当たる場所   | ホコリや塵の多い場所 |
| 温度変化の激しい場所   | 湿度変化の激しい場所 |
| 火気のある場所      | 水に濡れやすい場所  |
| 揮発性物質のある場所   | 冷暖房機具に近い場所 |
| 震動のある場所      | 加湿器に近い場所   |
| テレビ・ラジオに近い場所 |            |

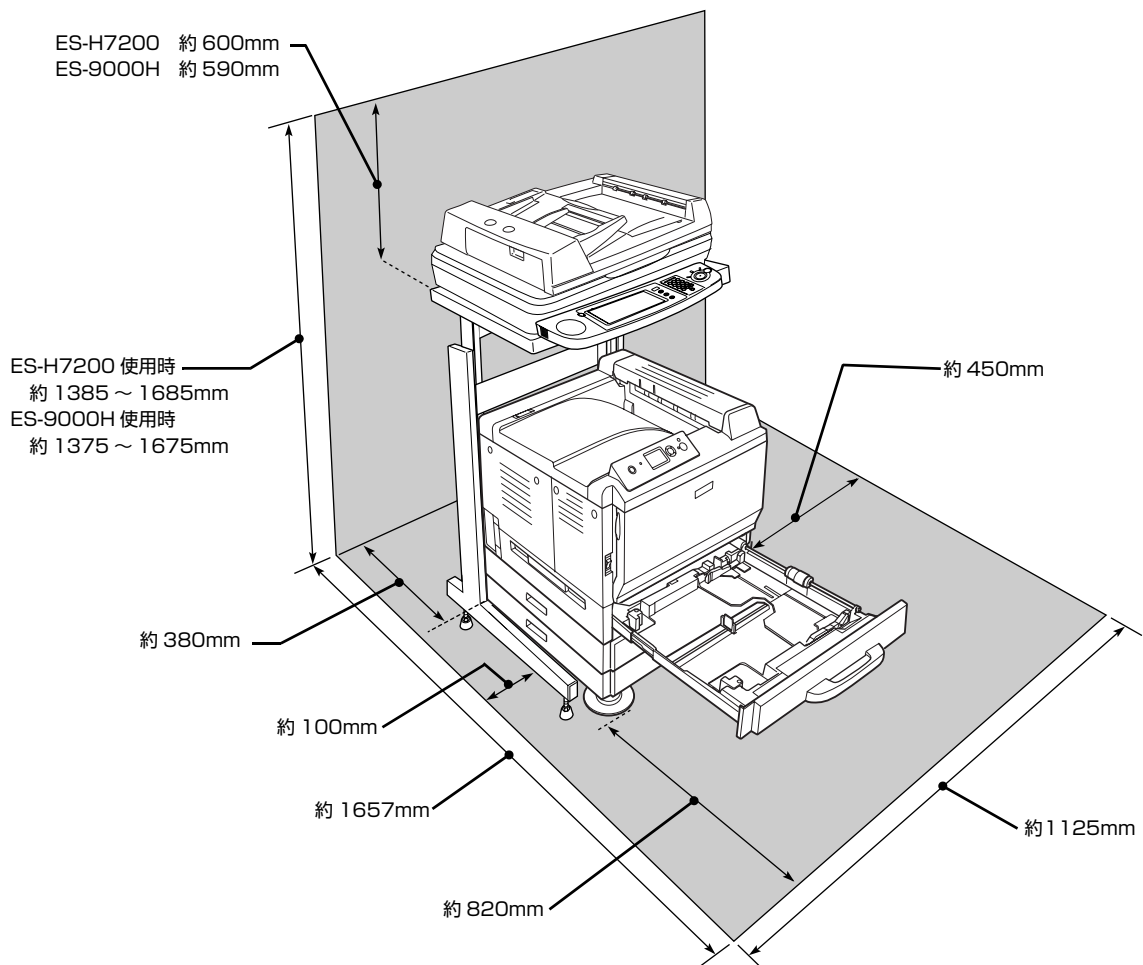
## 設置スペースを確保します

ここでは、各機器を設置するために必要なスペースを示します。さらに、電圧 AC 100V のコンセントが最大で 4 口必要です。

- プリンタ用（他の機器と別のコンセントに接続する必要があります）
- スキャナ用
- コピーユニット（操作パネル）用
- FAX ユニット用（オプション）

## 専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用する場合

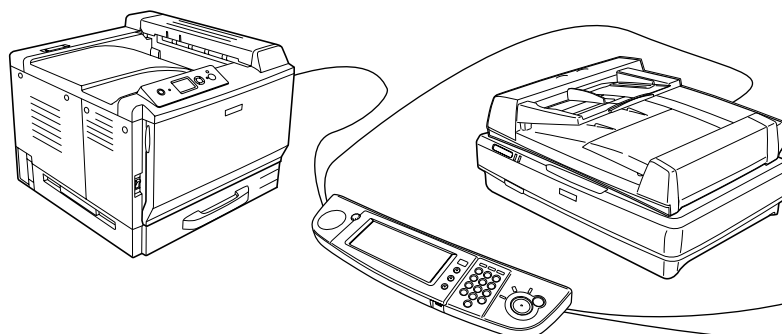
専用スキャナスタンド（型番：CSCBN8A） / 専用プリンタ台（型番：CSCBN13B）



## 専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用しない場合

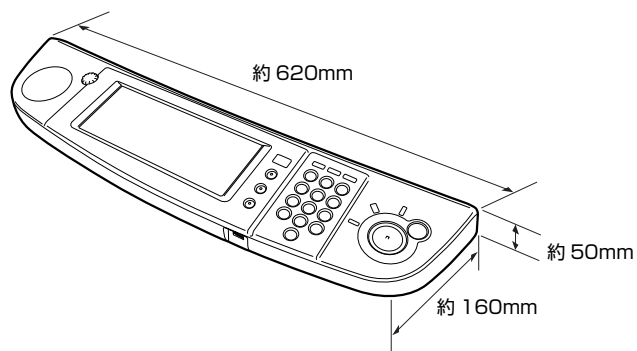
プリンタとスキャナを並べて設置します。プリンタとスキャナの設置に必要なスペースはそれぞれの取扱説明書を参照してください。

<例>



### CS-9200(操作パネル)

操作パネルの寸法は次の通りです。ボタンの操作に支障のないスペースを確保してください。





# スキャナ用I/Fカードとオートドキュメントフィーダの取り付け

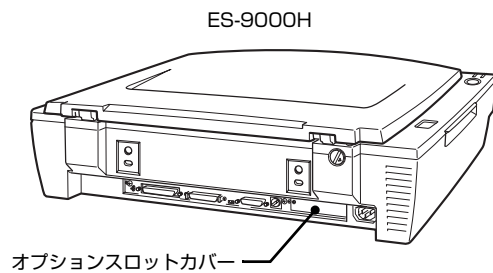
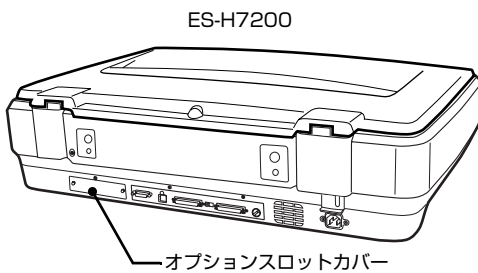
## スキャナ用 I/F カードを取り付けます

**⚠ 警告** 指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

- ! 重要**
- 取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
  - オートドキュメントフィーダは、指示された手順で取り付けてください。先に取り付けると、スキャナ用 I/F カードが取り付けにくくなります。

**1** スキャナの電源コードが、スキャナの本体とコンセントから抜かれていることを確認します。

**2** オプションスロットカバーの位置を確認します。

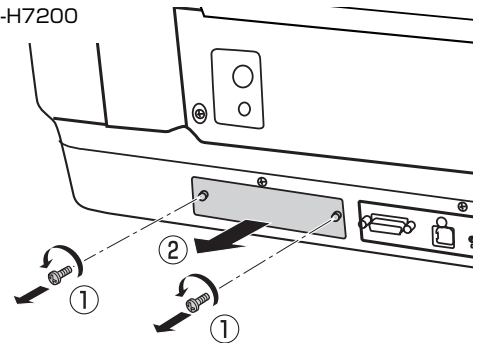


**3** オプションスロットのカバーを取り外します。  
カバー内側のネジ（2本）を外します。

**参考**

取り外したネジとカバーはI/Fカードを取り外したときに必要になりますので、なくさないよう保管してください。

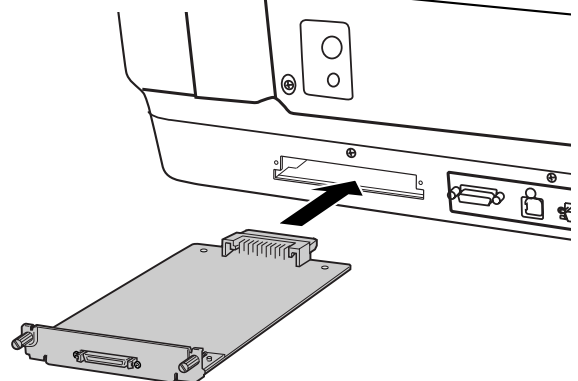
<例> ES-H7200



**4** スキャナ用 I/F カードを、オプションスロットに差し込みます。

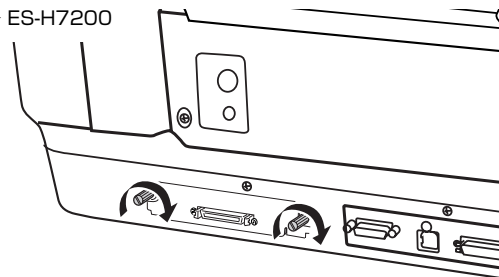
I/F カードの部品が実装されている面を上にして、スロット左右のガイドに沿ってまっすぐ差し込みます。先端のコネクタがスロット奥のソケットに差し込まれる手応えがあるまで差し込んでください。

<例> ES-H7200



- 5** I/Fカードを固定します。  
I/Fカードをネジ（2本）で固定します。

<例> ES-H7200



以上で終了です。次の手順に進みます。

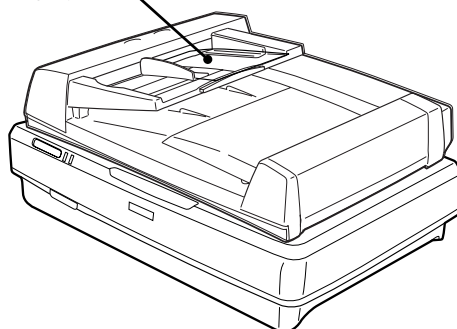
- オプションのオートドキュメントフィーダを使用する  
☞ 本書 10 ページ「オートドキュメントフィーダを取り付けます」
- オプションのオートドキュメントフィーダを使用しない  
☞ 本書 11 ページ「プリンタ用 I/F カードの取り付け」

## オートドキュメントフィーダを取り付けます

オプションのオートドキュメントフィーダを取り付けます。スキャナに同梱の取扱説明書を参照して取り付け作業を行ってください。

<例> ES-H7200

オートドキュメントフィーダ



次にプリンタ用 I/F カードをプリンタに接続します。

☞ 次ページ

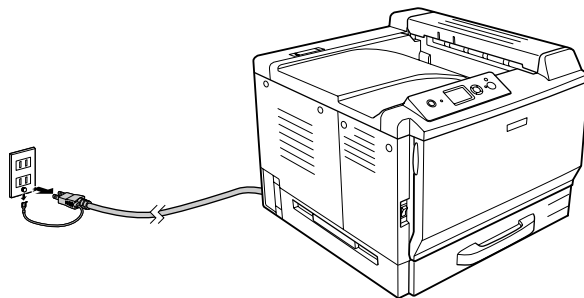
# プリンタ用 I/F カードの取り付け

プリンタ用 I/F カードを用意してください。取り付け作業には、プラスドライバーが必要です。

**⚠ 警告** 指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

**!重要** 取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

- 1** プリンタの電源コードが、コンセントから抜かれていること、アース線が接続端子から外れていることを確認します。

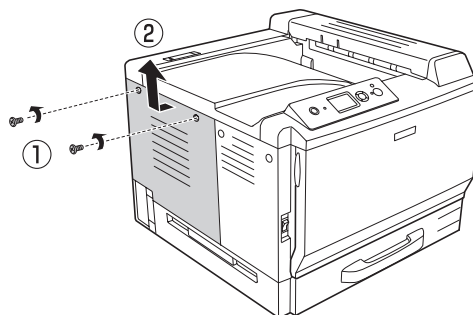


- 2** 正面から見て左側のカバーを取り外します。

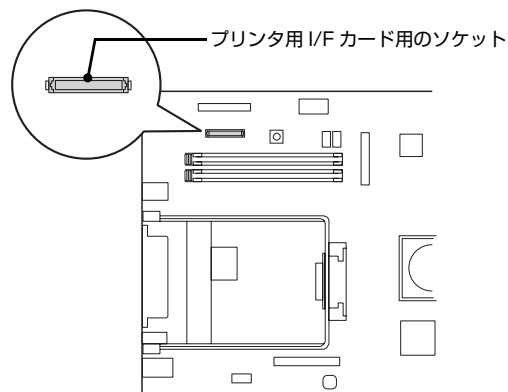
- ① ネジ 2 本を外します。
- ② 左カバーの上部を少し手前に倒してから、上にずらして（左カバーの下部に付いているフックを外して）取り外します。

**!重要**

作業に必要な場所には触れないようにしてください。感電や火傷の原因となります。



- 3** 基板上のソケットの位置を確認します。

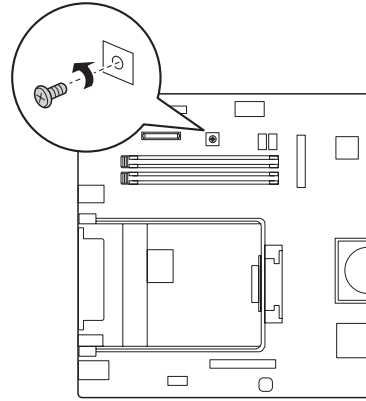


4

基板上のネジを外します。

**！重要**

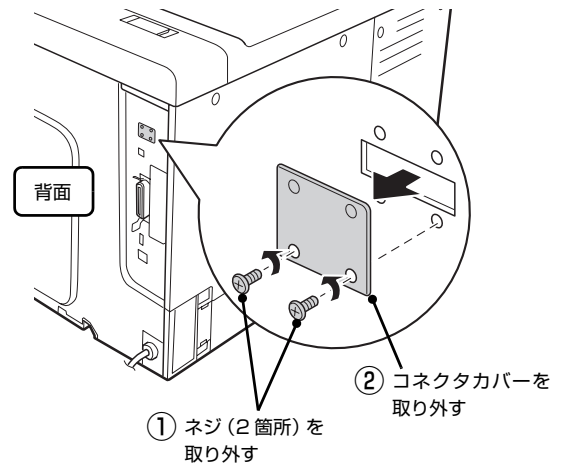
ネジを外す際は、基板上の部品に触れないよう、またネジを落とさないようにしてください。



5

プリンタ背面側のコネクタカバーを取り外します。

取り外したネジは 7 で使用します。なくさないようにしてください。

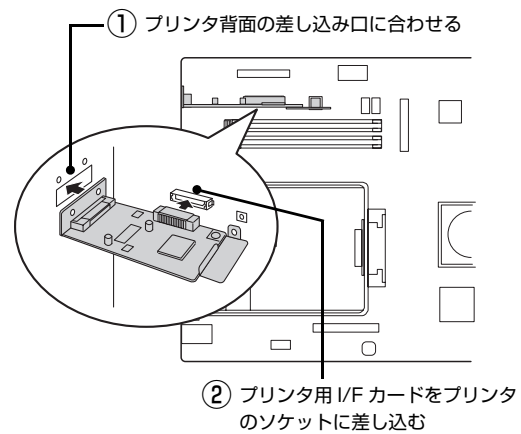


6

プリンタ用 I/F カードを取り付けます。

**！重要**

プリンタ用 I/F カードを扱う際は、基板上の部品に触れないよう、I/F カードの端を持ってください。



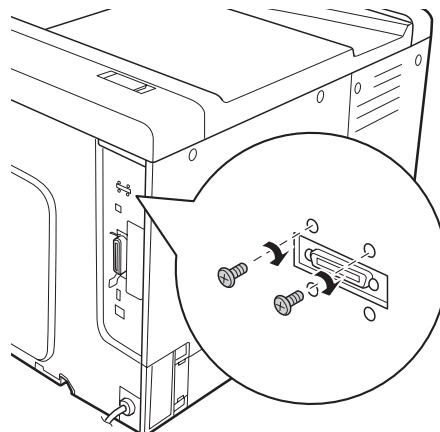
7

プリンタ用 I/F カード背面を固定します。

手順 5 で取り外したネジ (2 本) を使用して固定します。

**！重要**

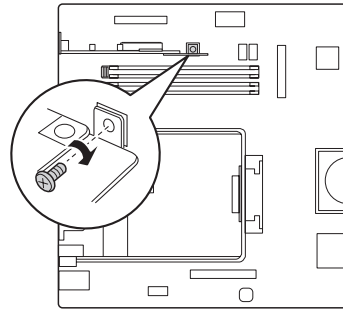
プリンタのソケットにコネクタがしっかり固定されていることを確認してください。浮いていると、正常に動作しない場合があります。



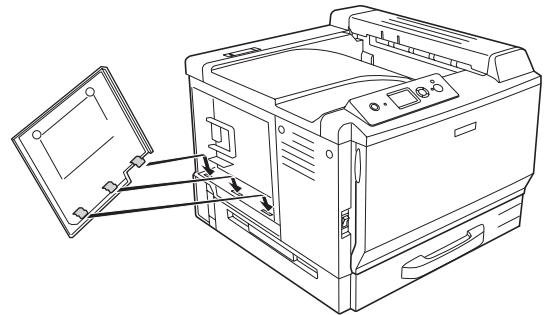
**8**

プリンタ用I/Fカードのブラケットと基板を固定します。

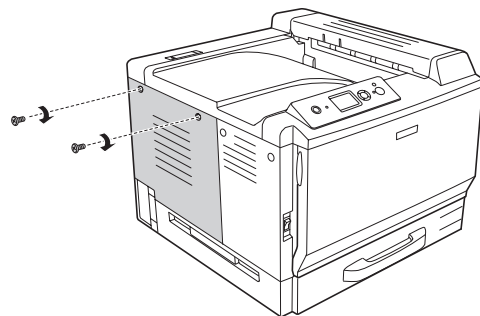
手順 4 で取り外したネジ (1 本) を使用して固定します。

**9**

左カバーの下部 (内側 3 箇所) にあるフックをプリンタ側の枠にはめ込み、左カバーの上部を押さえつけて取り付けます。

**10**

左カバーのネジ (2 本) を取り付けます。



以上で終了です。

次に操作パネル、FAX ユニットを取り付け、各機器を接続します。

☞ 本書 14 ページ「操作パネル/FAX ユニットの取り付けと配線」

# 操作パネル / FAX ユニットの取り付けと配線

操作パネルと FAX ユニットなどの各機器を接続して、コピーユニットを使用可能な状態にします。

## 操作パネルを取り付けるための準備をします

専用のスキャナスタンドを使用しない場合は、以下のページに進みます。

📖 本書 16 ページ「操作パネルに各ケーブルを接続します」

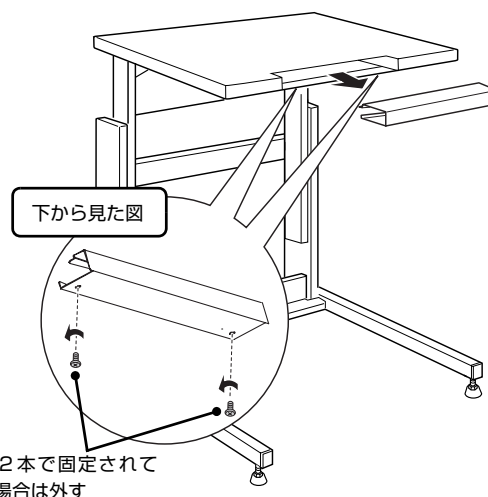
以下の物を用意してください。取り付け作業には、プラスドライバが必要です。

- 操作パネル取付板
- スキャナ用 I/F ケーブル
- プリンタ用 I/F ケーブル
- AC アダプタ
- ネジ (4 本)
- USB ケーブル (オプションの FAX ユニットを接続する場合に必要です)
- LAN ケーブル (同梱されておきませんので、別途ご用意ください)

1

専用スキャナスタンドに前面カバーが付いていないことを確認します。

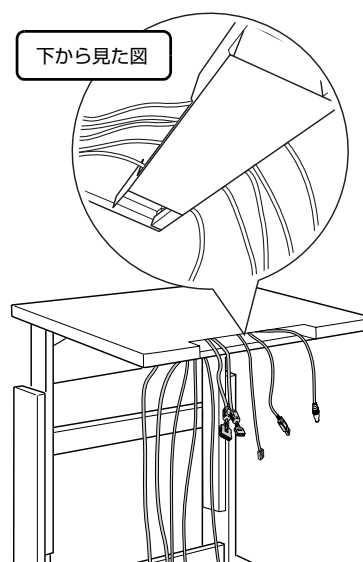
前面カバーが取り付けられている場合は、ネジ 2 本を外して前面カバーを取り外します。



2

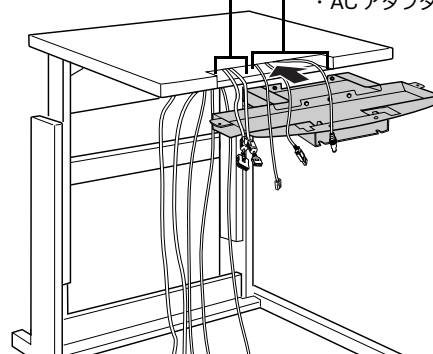
専用スキャナスタンドの操作パネル取り付け口から各ケーブルを通します。

プリンタ用 I/F ケーブル、スキャナ用 I/F ケーブルが左側に、その他のケーブルが右側にくるようにします。

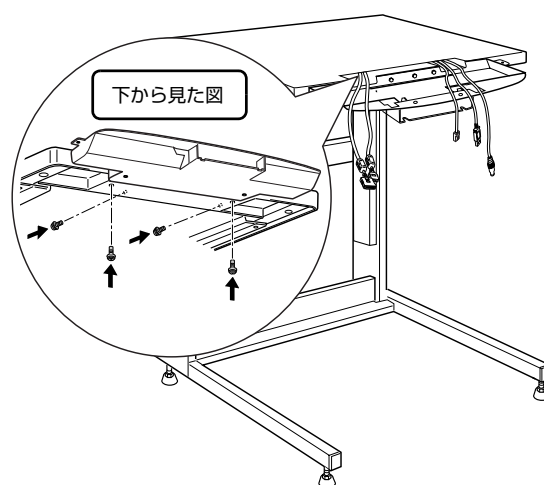


**3** ケーブルを左右に分けて、操作パネル取付板を専用スキャナスタンドに差し込みます。

- 左側
- ・プリンタ用 I/F ケーブル
  - ・スキャナ用 I/F ケーブル
- 右側
- ・LAN ケーブル
  - ・FAX ユニット用 USB ケーブル (オプション)
  - ・AC アダプタケーブル



**4** 専用スキャナスタンドと操作パネル取付板を固定します。  
専用スキャナスタンドに同梱のネジ(4本)で固定します。



次に操作パネルに各ケーブルを接続します。次ページへ進みます。

## 操作パネルに各ケーブルを接続します

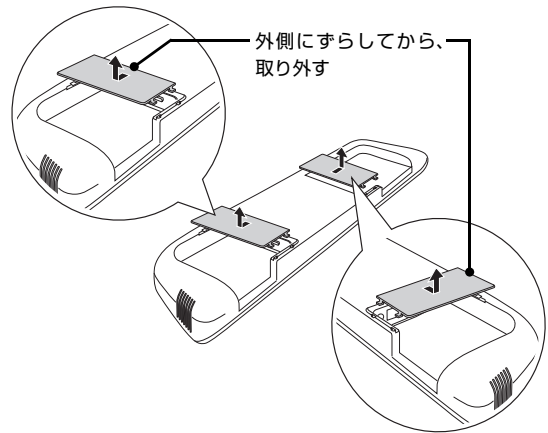
操作パネルを用意してください。操作パネル底面にある左右のコネクタに以下のケーブルを取り付けます。

- 左側背面：プリンタ用 I/F ケーブル、スキャナ用 I/F ケーブル
- 右側背面：AC アダプタケーブル、LAN ケーブル、オプションの FAX ユニット用 USB ケーブル

### 1 操作パネル底面にある左右のカバーを取り外します。

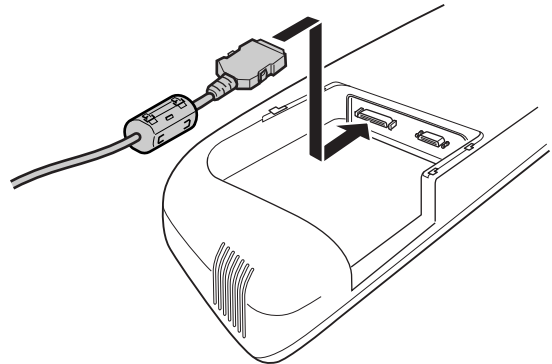
#### ！重要

操作パネルを裏返す際に、操作パネルが傷付いたり破損することを防ぐために、平らな台の上で、柔らかい布などの上に置いてください。



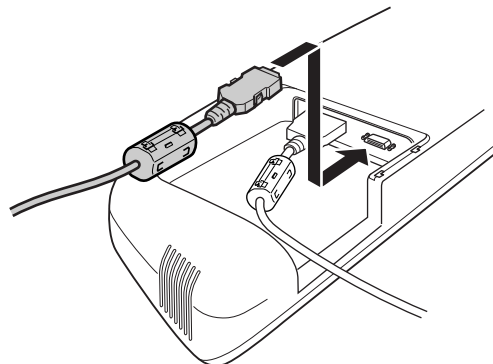
### 2 スキャナ用 I/F ケーブルを接続します。

「ECIF-S」という刻印があるコネクタに差し込む



### 3 プリンタ用 I/F ケーブルを接続します。

「ECIF-P」という刻印があるコネクタに差し込む





4

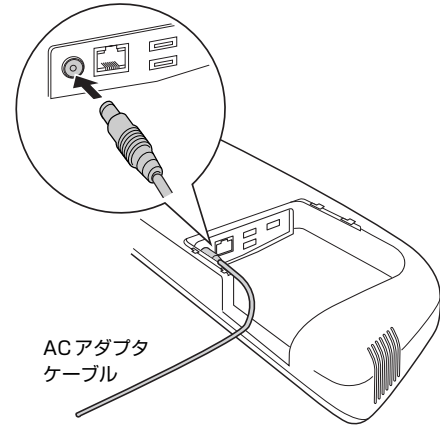
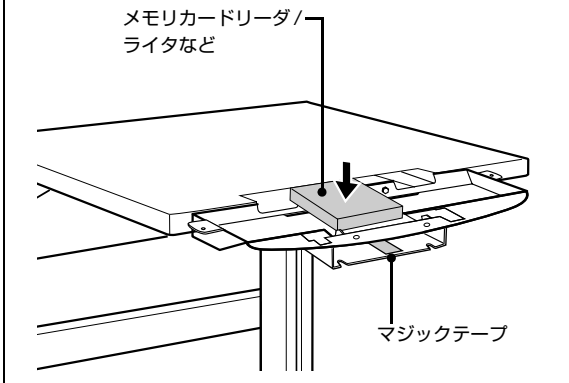
AC アダプタケーブルを接続します。また、必要に応じて LAN ケーブルや USB ケーブルを接続します。コピーユニットをネットワークに接続する場合（ネットワークスキャン機能、メール機能、ファイル機能を使う場合）は、LAN ケーブルを操作パネルのコネクタに差し込みます。

**！重要**

AC アダプタケーブルは必ず付属品をお使いください。

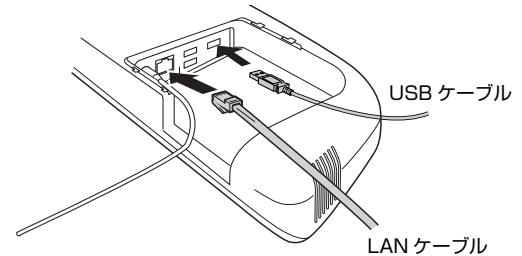
**参考**

コピーユニットの USB メモリ保存機能でメモリカードリーダー/ライタなどを使用する場合は、USB デバイスのポート 2 または 3 に USB ケーブルを接続します。接続したメモリカードリーダー / ライタなどは、同梱のマジックテープを使用して、操作パネル取付板に固定してください。



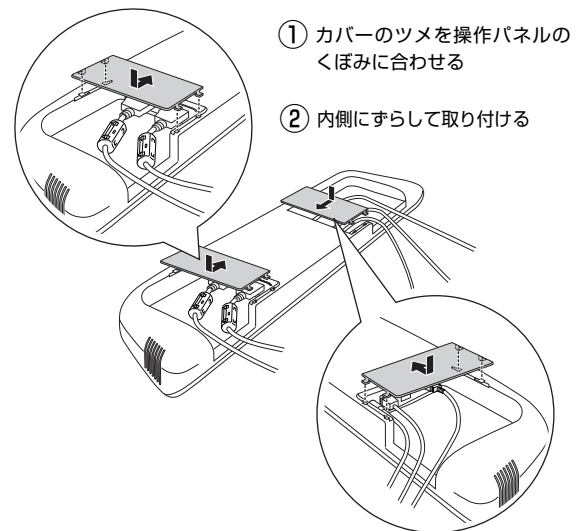
AC アダプタ  
ケーブル

FAX ユニットの USB ケーブルは「4」のコネクタに接続



5

取り外したカバーを元に戻します。



オプションの専用スキャナスタンドを使用する場合は、次ページに進んで操作パネルの取り付け作業を行います。専用スタンドを使用しない場合は、以下のページに進みます。  
 ☞ 本書 21 ページ「各機器にケーブルを配線します」

## 操作パネルを取り付けます

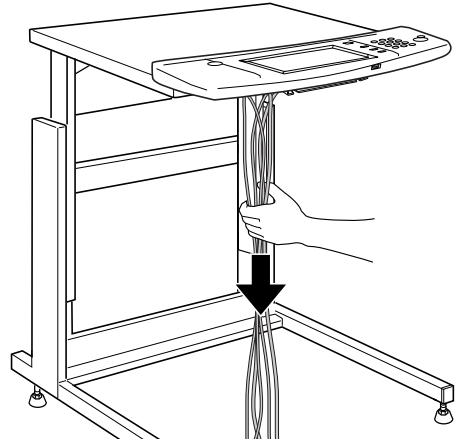
コピーユニットに同梱されているネジ（4本）を用意してください。取り付け作業には、プラスドライバーが必要です。

### ！重要

操作パネルと操作パネル取付板をネジで固定する際は、次の点に注意してください。

- 操作パネルと取付板を支える人と、ネジで固定する人の、2人以上で行ってください。
- 操作パネルの破損を防ぐため、ネジをきつく締めすぎないでください。

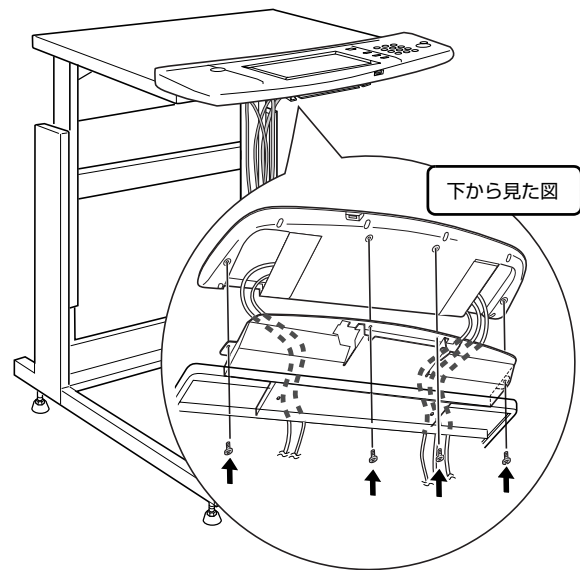
- 1 ケーブルのたるみを取りながら、操作パネルを操作パネル取付板の上に置きます。



- 2 操作パネル取付板に操作パネルを取り付けます。コピーユニットに同梱のネジ（4本）で取り付けます。

### ！重要

- 操作パネルと操作パネル取付板を取り付けると、操作パネルに接続したケーブルは取り外せません。操作パネル取付板は、操作パネルに各ケーブルを接続した後に行ってください。
- 操作パネルを操作パネル取付板に取り付ける際に、ケーブルを挟まないようにしてください。



次に FAX ユニットを取り付けます。

- オプションの FAX ユニットを使用する  
☞ 次ページ
- オプションの FAX ユニットを使用しない  
☞ 本書 20 ページ「各配線をまとめます」

## FAX ユニットを取り付けます

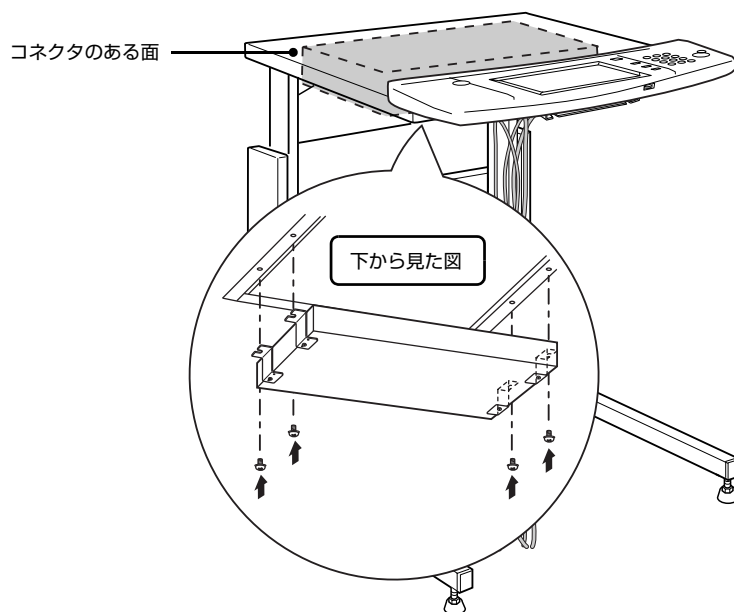
FAX ユニットを使用しない場合は、以下のページに進みます。

☞ 本書 20 ページ「各配線をまとめます」

FAX ユニットとネジ（4個）を用意してください。取り付け作業には、プラスドライバーが必要です。

FAX ユニットに同梱のネジ（4本）を使って、専用スキヤナスタンドのスキヤナを置く板の裏側に FAX ユニットを固定します。

コネクタのある面を背面に向けて取り付けます。



オプションの専用スタンドを使用する場合は、次ページに進んで配線作業を行います。

オプションの専用スタンドを使用しない場合は、以下のページに進みます。

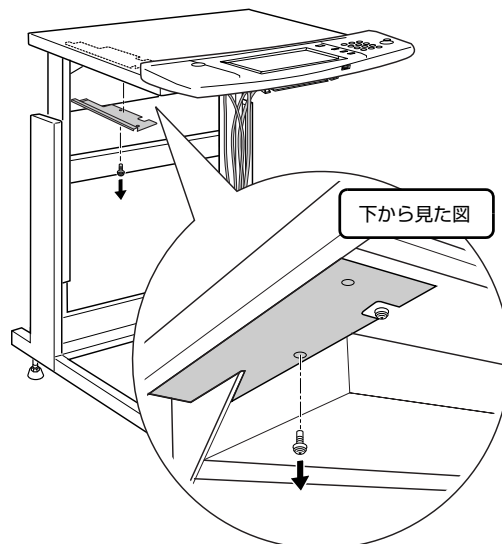
☞ 本書 21 ページ「各機器にケーブルを配線します」

## 各配線をまとめます

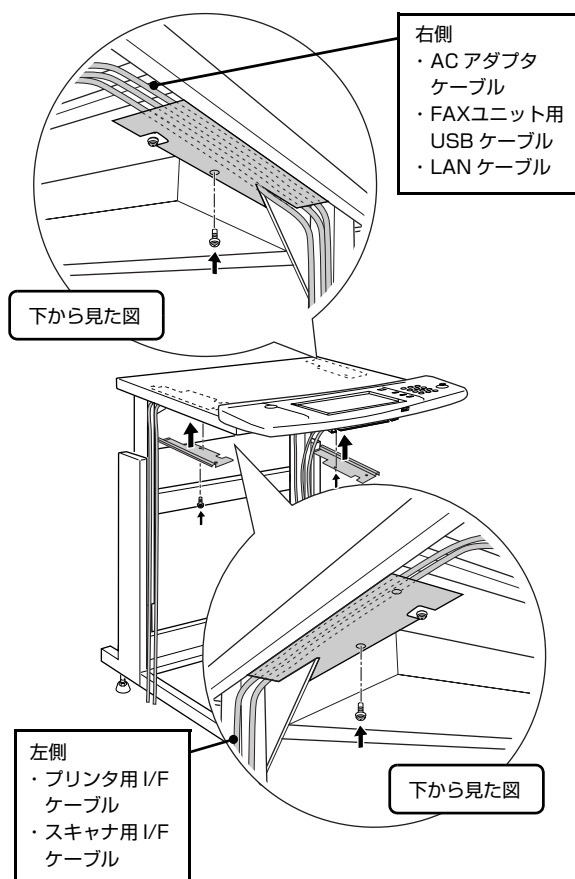
専用スキャナスタンドを使用しない場合は、以下のページに進みます。

📖 本書 21 ページ「各機器にケーブルを配線します」

- 1 専用スキャナスタンド天板裏面のケーブルカバー板（左右）を取り外します。  
ネジ（1本）を回して取り外します。



- 2 各ケーブルを図のように通した状態で、ケーブルカバー板を取り付けます。  
手順 1 で取り外したネジ（1本）で固定します。

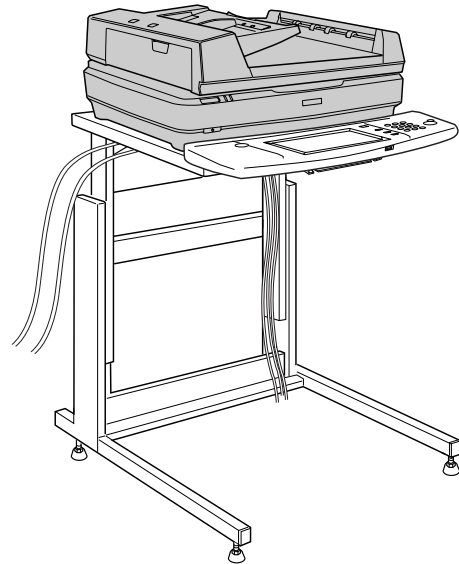


次にスキャナを専用台に設置します。

## スキャナを専用台に設置します

- ⚠ 注意
- スキャナを持ち上げる際は、必ず2人以上で作業を行ってください。  
スキャナは、ES-H7200 約 12.5kg/ES-9000H 約 17kg（本体のみ）です。
  - ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。  
無理な姿勢で持ち上げると、けがの原因となります。

スキャナを専用スキャナスタンドの上に載せます。

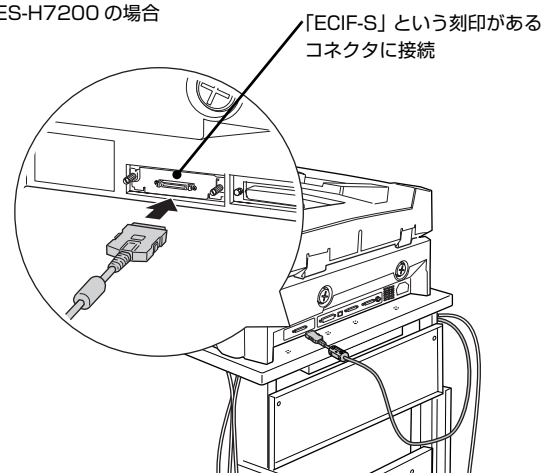


## 各機器にケーブルを配線します

オプションの FAX ユニットを使用しない場合、FAX ユニットのケーブル配線の説明は読み飛ばしてください。  
AC アダプタ用 AC ケーブル、オプションの FAX ユニット用 AC ケーブル、電話線を用意してください。

- 1 **スキャナにスキャナ用 I/F ケーブルを接続します。**  
スキャナ用 I/F ケーブル（両端のコネクタが大きいケーブル）を、スキャナに装着した I/F カード背面のコネクタに接続します。

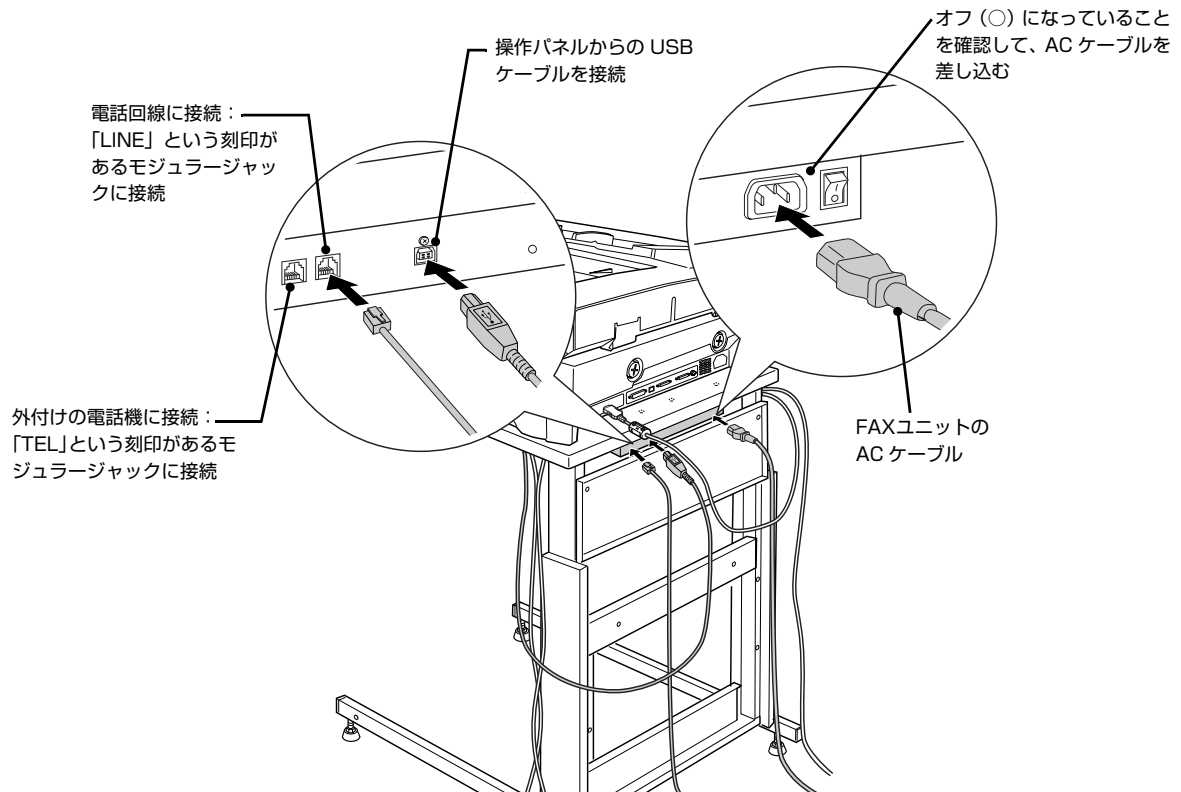
ES-H7200 の場合



## 2

## FAX ユニットに各ケーブルを接続します。

- FAX ユニットに同梱の電話ケーブルを、「LINE」という刻印があるモジュージャックに差し込みます。もう一方は、電話回線用のモジュージャックに差し込みます。
- 操作パネルに接続した USB ケーブルのもう片方を接続します。



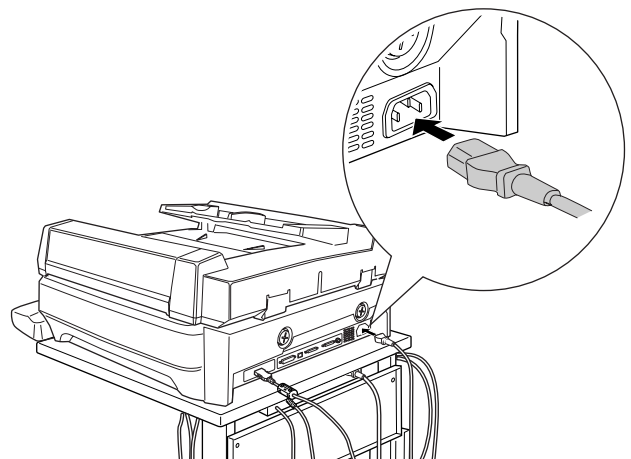
## !重要

## &lt;FAX ユニットと電話回線との接続に関するご注意&gt;

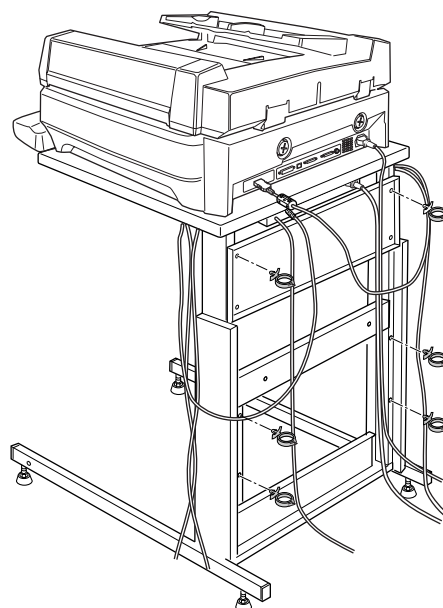
- 接続できる電話回線は、加入電話回線 (PSTN) と自営構内回線 (PBX) のみです。
- 次の電話回線や電話機を FAX ユニットに接続しないでください。正常に動作しないことがあります。
  - \* 上記以外の回線、NCC 回線、デジタル回線、F ネットなど
  - \* 加入電話回線との間に TA、スプリッタ、ADSL ルータなどの各種アダプタを接続した場合
  - \* 各種サービス (キャッチホン / ナンバーディスプレイ / ダイヤルインなど) の提供を受けている電話回線
  - \* 多機能電話機 (留守番電話、外付け電話 / ファクス自動切換など)
  - \* その他、電話回線の状況や地域などの条件により、ご使用になれない場合があります。
- お手持ちの一般の電話機に接続する場合、ひとつの電話回線に、FAX ユニットと一般の電話機を並列に接続 (ブランチ接続) しないでください。
- ADSL・光ファイバーなどのブロードバンド環境を利用した IP 電話接続には対応しておりません。
- 一般の電話機は、市販の電話台などに置いてください。操作パネルやスキャナ、プリンタの上には置かないでください。

## 3

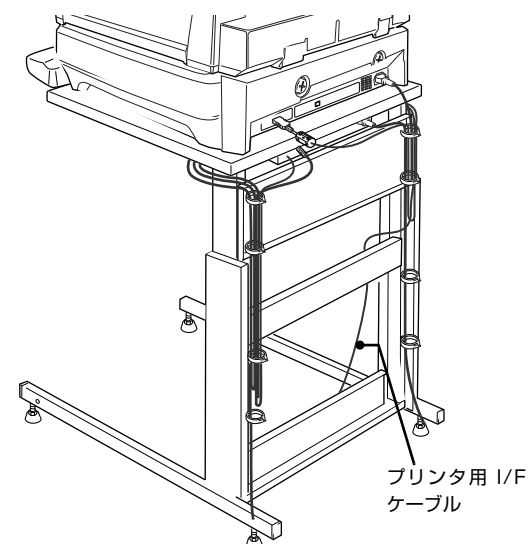
## スキャナの電源コードを接続します。



- 4** 専用スキャナスタンドにケーブルクリップを取り付けます。  
ケーブルクリップは、専用スキャナスタンドに同梱されています。

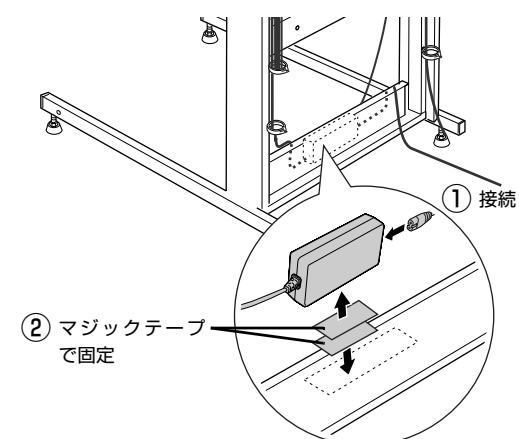


- 5** 各ケーブルをまとめて固定します。

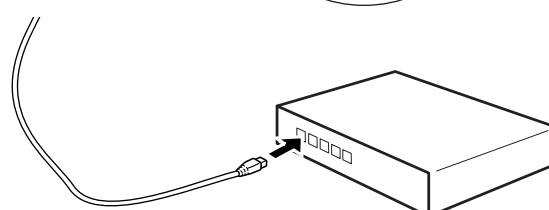


- 6** ACアダプタに電源コードを接続して、固定します。  
ACアダプタの固定は、コピーユニットに同梱のマジックテープをACアダプタと固定位置に貼付して固定します。

**参考**  
ACアダプタに貼るマジックテープは、「EPSON」と書かれたラベルに重ならないように貼付してください。



- 7** LANケーブルをハブに接続します。



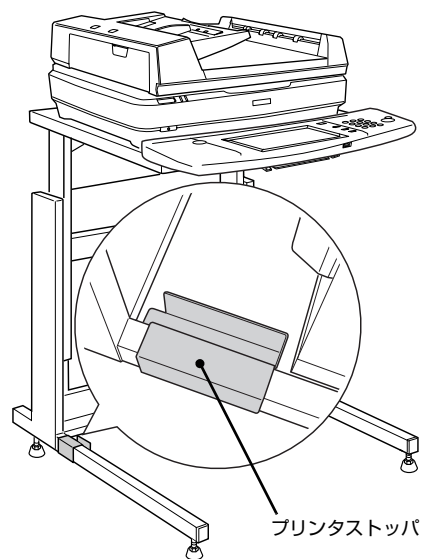
次にプリンタを設置します。

## プリンタを設置してケーブルを接続します

- 1 プリンタストップを専用スキャナスタンドに取り付けます。

### ！重要

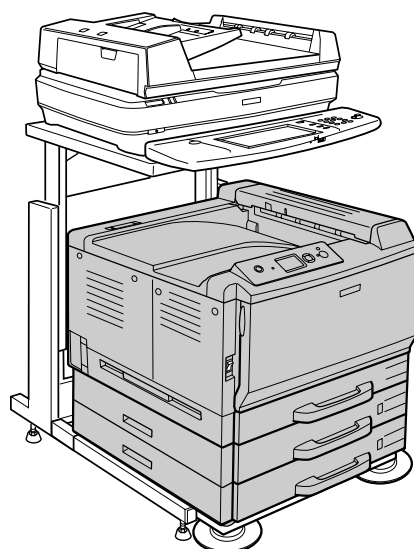
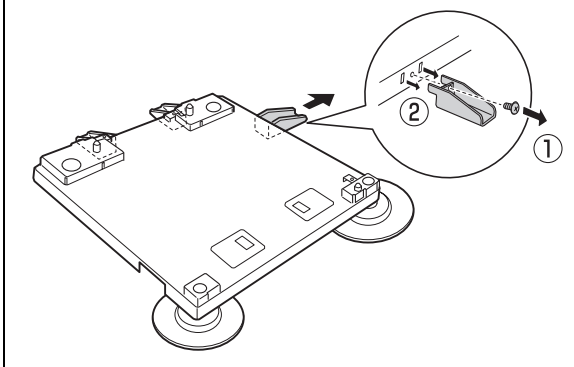
プリンタストップを装着しないと、ケーブルがプリンタとスタンドに挟まれる危険があります。専用スキャナスタンドにプリンタを入れる場合は、必ずプリンタストップを取り付けてください。



- 2 プリンタを設置します。

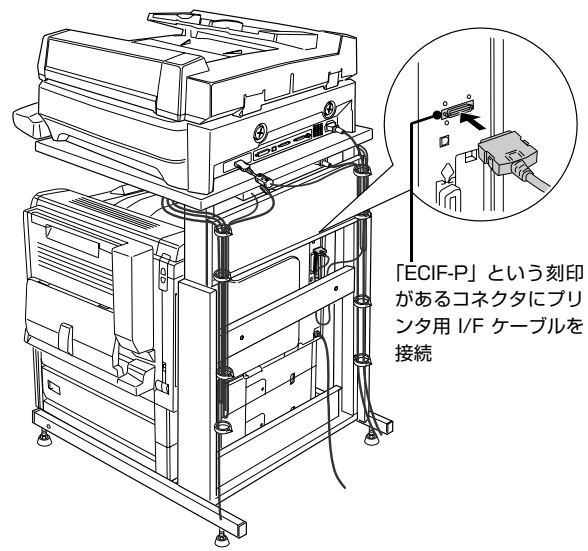
### ！重要

専用プリンタ台の右固定脚が取り付けられた状態ではスタンド内に収納できません。取り付けられている場合は、以下のように取り外してください。





**3** プリンタにプリンタ用 I/F ケーブルを接続します。  
プリンタ用 I/F ケーブル（両端のコネクタが小さいケーブル）を、プリンタに装着した I/F カード背面のコネクタに接続します。



次に電源に接続します。

## 電源と接続します

### ⚠ 警告 漏電による事故防止について

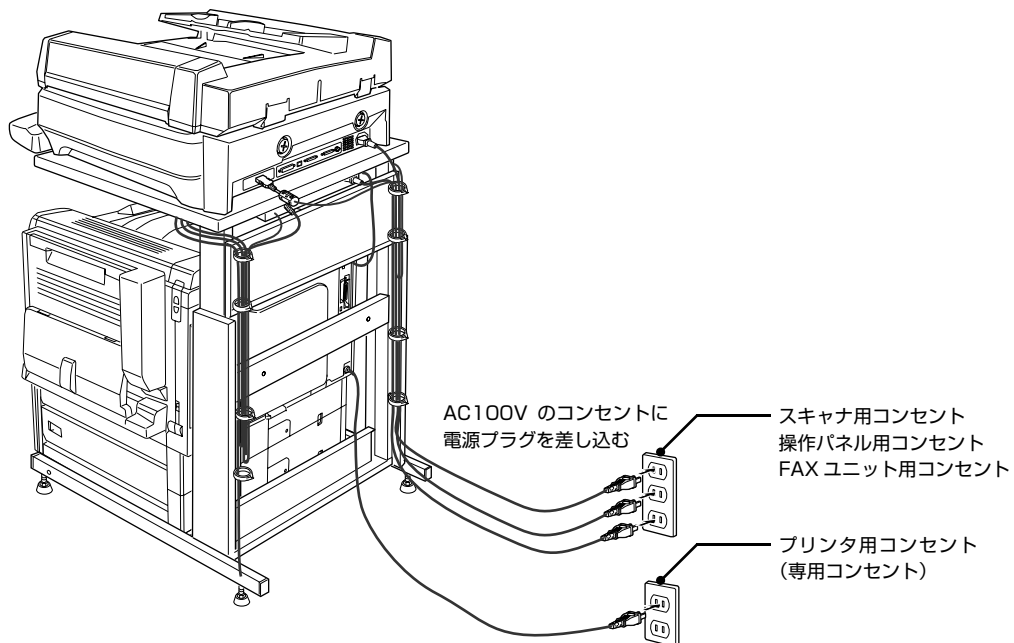
電源コードには、アース線（接地線）が付いています（操作パネル用は除く）。アース線を接地すると、万が一製品が漏電した場合に、電気を逃がし感電事故を防止することができます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。

- ⚠ 注意
- アース線を電源コンセントに差し込まないでください。
  - アース線は、接地端子がある場合に接続してください。

1 各機器の電源スイッチがオフ（○）になっていることを確認します。

2 各機器の電源コードをコンセントに接続します。

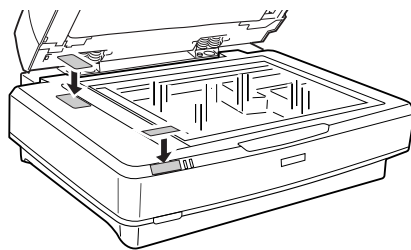
プリンタの電源コードを接続する電源とその他の機器を接続する電源を分けて接続してください。



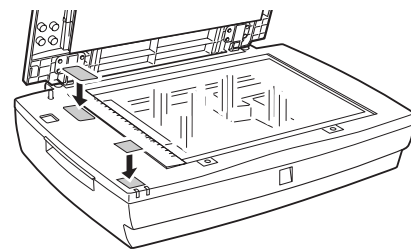
### 参考

- スキャナビボタンについて  
コピーステーションとして使用される場合、スキャナビボタンは使用できません。誤って操作しないよう、同梱のシールをスキャナビボタンに貼ってください。
- コピー禁止事項のシールについて  
コピーユニットには、禁止されているコピーを行わないよう、「コピー禁止事項」を記載したシールが同梱されています。このシールをスキャナに貼ってください。

ES-H7200



ES-9000H



以上でコピーユニットの準備は終了です。

最後に動作確認をします。

👉 次ページ

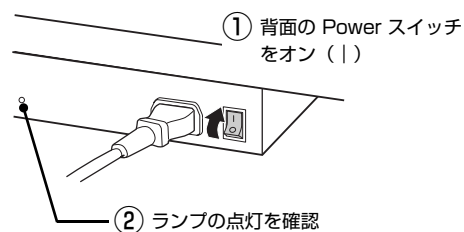
# 動作確認

各機器の電源コードが正しくコンセントに接続されていることをもう一度確認してください。

ここでは、各機器の電源をオンにして、動作の確認を行います。

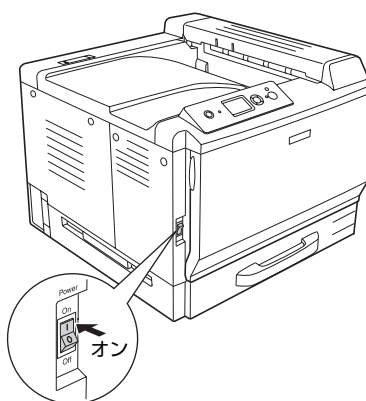
## 1 FAX ユニットの電源を入れます。

FAX ユニット背面のランプが点灯することを確認してください。点灯すれば正常です。

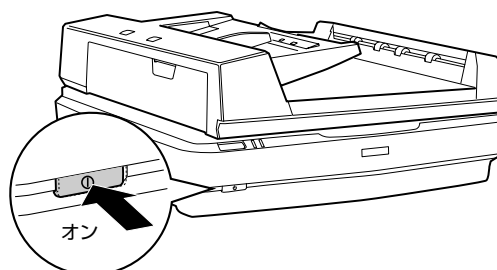


## 2 プリンタとスキャナの電源を入れます。

プリンタとスキャナの電源は、どちらを先に入れてもかまいませんが、20 秒以内に作業が終了するよう、続けて入れてください。



<例> ES-H7200



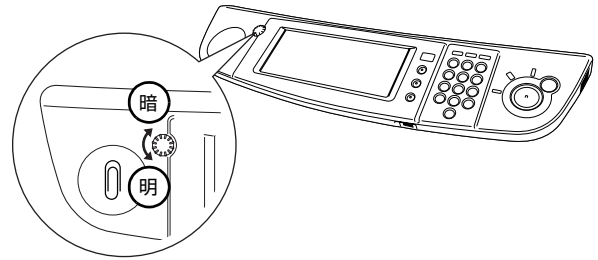
### 3 コピーユニットが、スキャナとプリンタのチェックを始めます。

チェックが完了すると、[コピー基本] 画面が表示されます。右の画面が表示されたら正常に動作しています。



使用するスキャナや装着されているオプションにより、画面の内容が多少異なります。

画面が極端に濃い、または薄い状態で、何も表示されない場合は、輝度調整ボリューム（画面左側のつまみ）を回して調整してみてください。



#### 参考

- FAX ユニットを取り付けていないと、画面左側の【FAX】ボタンはグレイ表示になり、選択できません。
- スキャナ、プリンタどちらかの電源が入っていないと【コピー】ボタンがグレイ表示になります。プリンタとスキャナの電源を入れ直してください。
- オプションを接続していると、チェックに時間がかかる場合があります。
- エラーメッセージが表示されたときは、画面に表示された説明に従って対処してください。  
☞ コピーステーション編「操作パネルにメッセージが表示されたときは」
- 操作パネルに何も表示されないときは、各ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。確認しても症状が改善されないときは、保守契約店（保守契約されている場合）またはお買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。

### 4 プリンタ、スキャナ、FAX ユニットの電源を切ります。

以上で開梱と設置作業は終了です。

次に同梱の「取扱説明書 2 コピーステーション編」を参照して、必要な設定作業を行ってください。

## Memo

---

## Memo

---

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。  
**FAQ** <http://www.epson.jp/faq/>

## ●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

**050-3155-8600** 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

## ●修理品送付・持ち込み依頼先 \*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

| 拠点名      | 所在地  | TEL           |
|----------|--|---------------|
| 札幌修理センター | 〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株) | 011-219-2886  |
| 松本修理センター | 〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)                    | 050-3155-7110 |
| 東京修理センター | 〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)                  | 050-3155-7120 |
| 福岡修理センター | 〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)  | 050-3155-7130 |
| 沖縄修理センター | 〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)         | 098-852-1420  |

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

\* 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

\* 修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

## ●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 \*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りに伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。\*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

\* 平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で

代行いたします。\*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

## ●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

**050-3155-8055** 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

## ●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8100** 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

## ●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●ショールーム \*詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F  
 【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F  
 【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

## ●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて  
会員登録。

## ●エプソンディスクサービス

各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

## ●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンのダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2007年9月現在)

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP) 2007.12



©セイコーエプソン株式会社 2008  
Printed in XXXXX

\*411381900\*